

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフtsunagu
------	---------	------	----------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		安全が確保されるよう、利用定員の順守をしている。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		支援の質を確保するために、児童の状況に応じて職員を配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		施設内の段差の解消や、トイレ内の改修を行い、バリアフリー化をしている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		PDCAサイクルに参画している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者向け評価アンケートを実施している。保護者の意見を真摯に受け止めスタッフで会議に話し合う機会を設けている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		毎年ホームページ上で公開している。	
適切な支援の提供	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		第三者による外部評価は実施していない。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		社内研修や外部研修の受講を計画的に行っている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		懇談の場を作り、家での様子、学校での様子の話をきく。不安に思っていることなどは日ごろの送迎時に聴くようにしている。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		社内共通のアセスメントシートがある。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		チームとしてたくさんの経験や体験ができるプログラムの発案ができる関係性にある。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		児童の様子に合わせて室内活動や外出を組み合わせている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		気候や体調面などを考慮し、メリハリある生活を心掛けている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		状況に応じるわけではなく、常日頃からゆったりできる環境や自然に触れる機会を持てるように特に心がけている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		スタッフ一人一人が同じ考えを持てるよう話し合い、同じ行動が出来るように毎日朝礼の時に話し合う。	
関係機関や保護者との連携	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		支援記録作成時などに言葉を交わすようにしている。情報共有が必要となる他事業所には電話やメールなどで意見交換をしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		個人記録をかいています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		事業所で会ったことや、対応に悩んだ時には相談できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	<input type="radio"/>		必要と感じた児童には支援員さんに相談機会を設けている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		保護者への確認を行いながら、学校や園との情報共有の際は、保護者の許可を頂いている。	
適切な支援の提供	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		必要に応じてする。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		態勢があれば利用したい。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>			現在は対象児童がいない。今後、そのような児童がいる場合には、連携を行っていく。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	研修を受けに行っている。		非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>			事業所の行事はないがお祭りや地域の催しには参加したいと思っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもも活動する機会がある	<input type="radio"/>	他事業所と合同企画をして児童同士交流深めてもらえるようにしている。			38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	入所時マニュアルを渡している。		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		現在協議会への参加はできません。		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	月一回避難訓練や防災学習を行っている。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	お家の様子を聞き取り、事業所での様子を伝えている。どのように支援していくか話し合いかをしている。			40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	事業所内や社外研修会の受講をしている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		ペアレントトレーニングをプログラムとして行っておりません。		41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	必要に応じて記載している。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	適切な説明を行っている。			42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	アレルギー対応が必要な子どもには、詳細な結果や対応指示書を頂いている。		
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	保護者からの話を聞きスタッフ一同周知し、対応と			43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハット記録の作成を進め、事業所内での共有に努めている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		母の顔を見ると帰りたくなる児童が多いので保護者だけでのお茶会はあった方がいいと感じている							
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備とともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	敏速に対応しスタッフ一同周知している。								
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	行事予定表の配布などを通して、保護者への情報発信をしている。								
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>	気を付けています。								
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	話が聞けるように落ち着いた環境で話すように心がけている。								

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。